平成26年度 事務事業評価シート

十八乙〇十尺 事物事未計画ノート								所 教	教育委員会	
事務事業名		谷甲にとき	谷中こどもクラブ仮移転施設設置						児童保育課	
	行政計画	なし 事業	NO. 計画事業名					事業の間		
	長期総合計画体系	[基本目標]								
		[小 柱]	(柱]					[事業開始] 平成 2 4 年度		
		[施 策]	短 策]					[終了予定]	平成 2 6 年度	
事	根拠法令等	条例•規則	〔法 *	令等名〕 東	京都台東区こどもク	ラブ条例				
務事業の概要	事業対象	谷中こどもクラブ	中こどもクラブ在籍児童							
	事業目的	谷中防災・コミ 業の継続を図る	・中防災・コミュニティセンター改築に伴い、谷中こどもクラブの仮移転先として防災広場 D継続を図る。					音の森に仮設	施設を建築し事	
	事業内容	24年度 設計、 25年度~26年	反設施設 プレハブリース(軽量鉄骨) 24年度 設計、10月〜建築、11月末移転 リース期間約4ヶ月 25年度〜26年度 リース期間24か月 リース期間としては合計28ヶ月 27年度 解体・整地1ヶ月(4月中に撤収、整地)							
	委託の有無	なし	-							
	補助金の有無	なし		託内容						
	種別	指標の	名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24	4年度	25年度	
	江手+1七+西	仮設移転期間(24年度~26年度合計) (月)			28	-		4	12	
	活動指標									
_	七 田七垣	谷中こどもクラブ入会	今中こどもクラブ入会者 (人)			-		50	50	
事務事業の実績	成果指標	谷中こどもクラブ待根	中こどもクラブ待機児童数 (人)			-		2	3	
	決算額 (単位:千円)					-		3,507	6,912	
		人にかかる	人にかかるコスト(人件費など)					4,998	2,130	
	事務事業コス	スト 物にかかる	物にかかるコスト(物件費・維持補修費)					2,908	6,912	
	(単位:千円	3) その他の:	その他のコスト(扶助費・補助費など)					599	0	
		総経費	総経費					8,505	9,042	
	財源項目	受益者負担	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)					0	0	
	(単位:千円		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)					0	0	
	(半世・11、		般財源(区負担額)					8,505	9,042	
			Lニティセンター内の児童館機能が休止している期間、こどもクラブ以外の児童の居場所が無いことから保護 していたため、防災広場や谷中小学校、谷中分室を使って一般児童対象の遊び事業を谷中こどもクラブ職 た。							
評価の視点		評価	評価の理由							
	必要性	1	谷中防災・コミュニティセンター改築期間中に谷中こどもクラブの事業を継続するため、「(仮設)谷中防災・コミュニティ施設」完成までの間、防災広場初音の森に仮設施設を建築し、こどもクラブ事業を継続するが、平成27年3月末で仮移転は終了する。							
	効率性	3	建築及び撤去・現状回復が短期間にできるプレハブ(リース)施設とし、建築から撤去までの費用の軽減や 仮移転の使用期間を短縮した。							
	手段の適切	3 リース建物を使用することで経費節約と使用期間の短縮を図りながら継続した。					がら、谷	中こどもクラブ	の事業を支障なく	
	目的達成原	り元里の放床後の店場所を確保できた。						置したことで事	業継続が可能とな	

[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)

谷中こどもクラブは、谷中小学校学区唯一のこどもクラブであり、他のこどもクラブとは距離があるため代替の場所がなかった。また、毎年受入枠まで入会し待機児童が出ているため、休止することが出来ない施設である。そのような状況から、谷中こどもクラブの事業継続のため、仮移転施設を設置したが、平成27年3月で改築工事が終了するため、本事業は終了する。

今後の方向性 評価 編 解 終了

拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了